

# 当事者の声から“未来の支払い”をデザイン！誰も取り残さない決済をめざす共創ワークショップを海老名マルイで開催

2026年8月3日（月）・4日（火）

海老名マルイ（株式会社丸井、本社：中野区中野、代表取締役社長：青野 真博）は、神奈川県（知事：黒岩 祐治）および富士通株式会社（本店：神奈川県川崎市、代表取締役社長：時田 隆仁）と連携し、「多様な未来の支払い方法に関する共創デザインプロジェクト事業」の一環として、誰もが使いやすい“未来の支払い”を共創する「ともに“しはらう”ってなんだったっけ？ワークショップ」を海老名マルイにて開催します。

障がい当事者や大学生、行政、企業が一堂に会し、当事者のリアルな声を起点に、神奈川県の発信力、富士通のテクノロジー、丸井グループの決済システム・店舗運営のノウハウをかけ合わせ、これまでにない決済体験の創出をめざします。

## ■ともに“しはらう”ってなんだったっけ？ワークショップ

2026年3月に富士通の共創施設「Uvance Innovation Studio (UiS)」で開催した第1回ワークショップでは、多様なアイデアが生まれました。今回は、そのアイデアをさらに発展させるとともに、新たな参加者の視点を取り入れながら、“未来の決済を当事者と共に創る”実証的な共創に挑戦し、社会実装を見据えた新たな決済の可能性を探ります。



障がい当事者の方々や田園調布学園大学（神奈川県川崎市）の学生の皆さまにご参加いただいた3月開催のワークショップの様子



神奈川県 ともに生きるってなんだっつけワークショップ

「なんだっ★？」

から、つながろう。

ともに生きやすい社会。だから、ともに考える。

富士通  
丸井グループ × 神奈川県

8/3・4  
月 火

多様な未来の支払い方法を考えるデザインワークショップ  
ともに“しはらう”ってなんだっつけ？  
ワークショップ

多様な背景を持つ人々が集まり、「支払い」という日常の体験から未来の社会にふさわしい決済のあり方を考えるデザインワークショップです。選択肢が増える一方で生じる「使いにくさ」や「不安」を、参加者の実体験や困りごとをベースに共有。お互いの違いを前提に、誰もが安心して“選べる”支払いの仕組みをアイデアとして形にしていきます。

開催日→2026年8月3日(月)・4日(火)

開催場所→海老名マルイ 5F イベントスペース

開催時間→①11:00~13:00 ②15:00~17:00

参加費用→無料

※席数に上限がございますので、あらかじめご了承ください

参加申込みは  
コチラ



問い合わせ

神奈川県福祉子どもみらい局 共生推進本部室共生企画グループ 電話:045-210-4961 (平日8時45分~17時)

2026年8月3日(月)・4日(火)の2日間は、ワークショップに加え、来店者も“未来の支払い”を体験・体感できる展示ブースを展開。多様なアイデアに触れながら、誰もが使いやすい決済の未来を共に考え

る場を創出します。ワークショップ参加者は7月9日（木）より募集します。



## ■今後の展開

今回の海老名マルイでのワークショップに続き、2026年12月にはマルイファミリー溝口にて、共創の成果を体験できる展示・展覧会を開催予定です。参加者の声やアイデアを社会に発信し、共感の輪を広げ、社会実装へとつなげることをめざします。

## ■共創の背景

社会課題の解決を目的としたビジネスが求められる今、自らもビジネスを通じて社会課題を解決したいと考えたとき、必ずしも起業する必要はありません。企業に所属しながら、その会社の人材やネットワーク、社会的な影響力を生かして社会課題の解決に挑戦する人を、「ソーシャル・イントラプレナー」と呼びます。丸井グループでは2022年ごろから、こうした人材の育成・支援に取り組んできました。その積み重ねによって、行政・企業・生活者が自然につながり、今回の「多様な未来の支払い方法に関する共創デザインプロジェクト事業」が誕生しました。

## ■イベント概要

開催場所：海老名マルイ 5F イベントスペース

開催内容：「ともに“しはらう”とは何か？」をテーマに、未来の決済について参加者同士で考え、アイデアを生み出すワークショップ

開催日：2026年8月3日（月）・4日（火）

開催時間：①11:00～13:00 ②15:00～17:00

参加費用：無料

参加申込み：[https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerDetail\\_initDisplay?tempSeq=130250](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=130250)

※本イベントは障がいの有無にかかわらず幅広い皆さまにご参加いただけます。会場では手話通訳を配置し、誰もが参加しやすい環境づくりに努めています

※席数に上限がございますので、あらかじめご了承ください

#### ▼神奈川県

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1368/tomoniikiru/index.html>

#### ▼富士通

<https://global.fujitsu/ja-jp>

#### ▼海老名マルイ

<https://www.0101.co.jp/082/>

#### ▼丸井

<https://www.0101.co.jp>

## ■「ソーシャル・イントラプレナー」とは

「ソーシャル・イントラプレナー（Social Intrapreneur）」とは、企業などの組織に所属しながら、その経営資源を活かして社会課題の解決に取り組む人をさします。

丸井グループでは2022年ごろから、その認知拡大と育成に取り組み、ガイドブックの翻訳出版や国内初のフォーラム開催、コミュニティ形成などを推進してきました。2025年度には一般財団法人「ソーシャル・イントラプレナー育成財団」が設立され、活動の輪が広がっています。

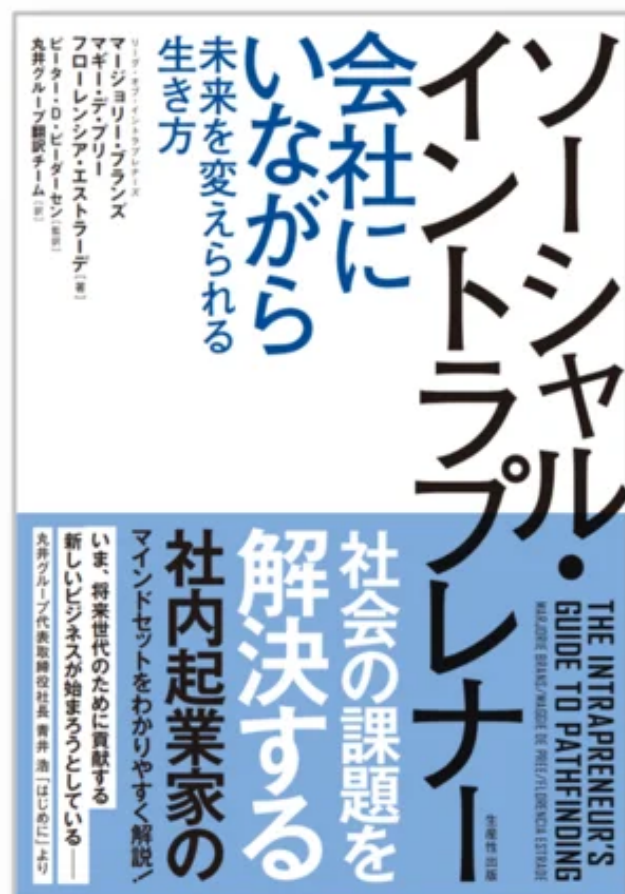
#### ▼ソーシャル・イントラプレナー育成財団設立（2025年）

## ■「ソーシャル・イントラプレナー～会社をいながら未来を変えられる生き方～」

原著『The Intrapreneur's Guide to Pathfinding』（著：マージョリー・ブランズ、マギー・D・プリアー、フローレンシア・エストラーデ）は、グローバル企業で活躍する「ソーシャル・イントラプレナー」の実践事例や知識、ノウハウを紹介した書籍です。

2022年9月、国内ではまだ馴染みの少ない、企業に所属しながら社会課題の解決に取り組む「ソーシャル・イントラプレナー」という働き方を広く知っていただくことを目的に、日本語版を翻訳出版しました。

翻訳は、丸井グループ社外取締役でサステナビリティの専門家であるピーター・D・ピーダーセン氏の監訳のもと、丸井グループ社員が担当しています。組織の中から社会課題の解決に挑戦したい方に、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。（税込1,980円）



▼丸井グループ

<https://www.0101maruigroup.co.jp>

当プレスリリースURL

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000004146.000003860.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000004146.000003860.html)

株式会社丸井グループのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company\\_id/3860](https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/3860)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

(株) 丸井グループ 総務部 広報室

電話：03-3384-0101 (代表)

メール：koho-media@0101.co.jp

担当：馬場・池田・橋本・大谷

※営業時間10:00～18:00 (水・日曜日定休)